

co-op

三重の生協の
今を伝える

No.135

2025年7月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

第49回 通常総会を開催しました

三重県生活協同組合連合会の第49回通常総会を、2025年6月19日(木)アスト津アストホールにて開催しました。当日は代議員総数32人に対し、実出席26名、委任1名、書面議決5名の参加でした。

茂木会長理事の挨拶の後、ご来賓の三重県環境生活部くらし・交通安全課の行村桂課長、消費者市民ネットワークみえの吉本敏子代表、日本生活協同組合連合会関西地連の村上毅事務局長よりご祝辞をいただきました。

鈴木専務理事が第1号議案から第4号議案までを一括して提案し、大川監事が第1号議案に関わる監査報告をおこないました。

三重大学生協の代議員からは、三重大学地域共創プラザの第1食堂の利用状況や安心して食事を利用できるシステムと今後のすすめていきたい活動について、みえ医療福祉生協の代議員からは、能登での被災者に寄り添った支援活動と、活動を通して学んだこと、自然災害への備えを連携してすすめていきたいこと、生協コープみえの代議員からは、この間の米不足の事態に至った要因や問題点を組合員とともに学び合っていきたいこと、三重県学校生協の代議員からは、さまざまな組織や団体との連携やつながることについて、三重労済生協の代議員からは、令和6年能登半島地震での支援や、防災・減災をはじめとした学習会や寄付・寄贈の取り組みについて、平和活動委員の代議員からは、「ピースアクションinヒロシマ」の参加報告について、50周年記念事業実行委員会の代議員からは、50周年記念事業実行委員会で検討・実施してきた50周年記念事業の取り組み報告があり、鈴木専務理事が理事会としての受け止めを回答しました。

その後の議案採決では、すべての議案が満場一致で可決されました。

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 第1号議案 | 2024年度活動のまとめと決算報告
ならびに剰余金処分案の件 |
| 第2号議案 | 2025年度活動方針と予算案決定の件 |
| 第3号議案 | 役員(理事9名、監事2名)選任の件 |
| 第4号議案 | 役員報酬決定の件 |



ご挨拶/会長理事 茂木 穰

昨年は、三重県生協連創立50周年を迎え、さまざまな取り組みを、すすめることができました。この50年で、それぞれの生協が地域や職場に生協を広め、組合員や社会の要望に応えるよう努力を続けた結果、現在の組合員はのべ45万世帯となり、世帯比60%に広がりました。

核兵器のない平和な社会をめざし、昨年は音楽朗読劇や国連でおこなわれた展示会の原爆パネル展をおこない、芸術に触れつつ、核兵器について考え合うことができました。いっぽう、世界では、各地の戦争や紛争は拡大し、イスラエルの攻撃で始まったイランとの戦争は、アメリカがイランの核施設を空爆し、世界に深刻な影響をもたらそうとしています。今年は被爆・戦後80年だからこそ、戦争のない世界をめざす運動をすすめることが重要です。

昨年の消費者物価指数は3%を超え、厳しいくらしが続いております。世界的な異常気象による自然災害の頻発が追い打ちをかけています。特に主食のコメ価格は昨年の2倍になっており、原因究明と食料自給率の向上をすすめる農業政策への転換が求められています。

今年は国際協同組合年です。協同組合らしく助け合い、協同組合間の協同の取り組みをすすめ、行政や地域諸団体との協力をさらに強め、地域共生社会を広めるために努力していきます。



一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえみえ医療福祉
生活協同組合三重県学校
生活協同組合三重大学
生活協同組合三重短期大学
生活協同組合三重県立看護大学
生活協同組合三重県労働者共済
生活協同組合

2025年度役員紹介

理事（代表理事）	茂木 穰（員外）	重任
副会長理事	堀尾 茂貴（みえ医療福祉生活協同組合 専務理事）	重任
専務理事（代表理事）	鈴木 克彦（生活協同組合コープみえ 専務理事）	重任
理事	枝松 かおり（三重県学校生活協同組合 専務理事）	重任
理事	竹内 信也（三重大学生活協同組合 専務理事）	重任
理事	鈴木 浩（みえ医療福祉生活協同組合 理事長）	重任
理事	安村 富子（生活協同組合コープみえ 副理事長）	重任
理事	松本 宏一（生活協同組合コープみえ 常務理事）	重任
理事	嶋崎 邦彦（三重県労働者共済生活協同組合 専務理事）	重任
監事	菅谷 芳則（みえ医療福祉生活協同組合 監事）	新任
監事	森下 智（生活協同組合コープみえ 常勤監事）	重任

2025年度専門委員会とプロジェクトチーム



平和活動委員会	食と健康の委員会	協同をすすめる委員会	大規模災害に備えるプロジェクトチーム	生協大会実行委員会
被爆・戦後80年を節目に、地域の平和活動団体とのつながりをより深め、核兵器廃絶と戦争のない平和な社会づくりに向けて取り組んでいきます。	会員生協の食と健康に関わる取り組みがすすむことをめざすとともに、学びの機会をつくっていきます。	三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」の運営を担い、あわせて関係する諸団体との連携を推進します。	三重県での甚大な被害発生を想定し、会員生協と三重県生協連で事業・地域活動の面から必要な備えの検討をすすめます。	会員生協と連帯し情勢に応じて地域の皆さんと社会的な課題や、くらしの課題について考えあう機会となるよう検討をすすめます。

開催報告

「災害ボランティアセンター運営者養成研修会」を開催しました

2024年12月4日（水）アスト津研修室Aにて、「災害ボランティアセンター運営者養成研修会」を一般社団法人ピースボート災害支援センター 遠藤 聡氏を講師にお招きして開催しました。

研修では、災害ボランティアセンターの概要や役割と運営について学び、ワークショップでは参加者が災害ボランティアセンターの運営者となって、被災者のニーズとボランティアのマッチング疑似体験をしました。

研修を通して、被災者にとって必要な支援を行うには、あらゆる支援者との協力体制や関係性の構築が重要であること、また平時から知識や経験を重ねておくことが大事であると認識を深めました。



開催報告

第7次エネルギー基本計画案へ意見書を提出しました

経済産業省資源エネルギー庁より、第7次エネルギー基本計画案への意見の募集が12月にあり、三重県生協連から意見書を提出しました。

※意見書は右の二次元バーコードからご覧いただけます。



開催報告

三重県議会の正副議長と三重県生協連の役員が懇談を行いました

1月16日（水）三重県議会棟で、三重県議会の議長 稲垣 昭義氏と副議長 小林 正人氏、三重県生協連の役員が懇談を行いました。当連合会から三重県政へ9項目の要望を提出しました。正副議長からは、一様に大事な課題であると受け止めていただきました。また、被災地支援の取り組みなど、今後も生協に期待する旨の意見をいただきました。



開催報告

食の安全・安心研修会「健康食品(サプリメント)や機能性表示食品、トクホの違いと、カラダへの影響」を開催しました

1月25日（土）アスト津研修室Aとオンラインにて、三重県と三重県生協連の共催による三重県食の安全・安心研修会「健康食品（サプリメント）や機能性表示食品、トクホの違いと、カラダへの影響」を開催しました。食の安全・安心をテーマとした三重県との学習会の共催は今回で6年連続6回目の開催となり、当日は会場33名、オンライン（Zoom）53名、合計86名の参加がありました。



講師には、公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問 畝山 智香子様をお招きして、わたしたちが日頃、口にする“食品”とは何かという基礎的なお話から、食品の安全の考え方や国の制度についてや、いわゆる健康食品とはどのようなものかといったこと、その問題点についてご講演いただきました。今年度も三重県とご一緒に、食の安全・安心に関わる研修会を開催する予定です。

開催報告

「DE&I・ジェンダー平等 基礎学習会～みんなが働きやすい職場環境にするには～」を開催しました

2月26日（水）アスト津会議室1にて、会員生協役職員を対象に「DE & I・ジェンダー平等 基礎学習会 ～みんなが働きやすい職場環境にするには～」を開催しました。講師には日本生活協同組合連合会 政策企画室 室長 平野 路子氏をお招きし、会員生協から役職員21名の参加がありました。

平野氏は、D（ダイバーシティ＝多様性）、E（エクイティ＝受容・包含）、I（インクルージョン＝公平性・公正性）の基礎的な概念の話を皮切りに、生協や企業の取り組み状況を話していただきました。そして従来の企業や団体、地域社会がかかえる課題から脱却するには、まずは誰にもある無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づくこと、そして未来にむけて集団で前向きに改善をすすめていきたいと思います。

三重県生協連は、DE & Iとジェンダー平等を推進していくための学びの機会を引き続き計画し、会員生協と一緒にすすめていきます。



活動報告

ピースアクションinオキナワに参加しました

3月26日(水)～28日(金)の日程で開催されたピースアクションinオキナワ第42回沖縄戦跡・基地めぐりに、三重県生協連から会員生協の役員2名が参加しました。

初日は全体会と分散会に参加し、翌日からのフィールドワークでは、全国の生協からの参加者とともに沖縄県内に残る戦跡や基地をめぐり、80年前に住民を巻き込んだ沖縄戦の実相について説明を受け、戦後から現在までつづく沖縄の現状や諸問題についてじっくりと学びました。

三重県生協連は、被爆・戦後80年となる今年も引き続き平和の取り組みを、会員生協や諸団体のみなさんと一緒にすすめてまいります。



瀬高の浜から辺野古基地建設予定地を臨む

活動報告

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」に取り組みました

「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会の会員団体である三重県生協連は、「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」の主旨に賛同し、会員生協で署名活動に取り組み、5月末日までに3,267筆の署名が集まりました。署名は「保険でより良い歯科医療を」全国連絡会を通して、衆参両院議長へ提出されます。



お知らせ

「ヒロシマ・ナガサキ、沖縄から男鹿和雄展 in MieMu」開催のお知らせ

7月19日(土)～8月3日(日) 三重県総合博物館(MieMu) 2階 交流展示室で「ヒロシマ・ナガサキ、沖縄から男鹿和雄展 in MieMu」を開催いたします。

男鹿和雄氏は、スタジオジブリ『となりのトトロ』『もののけ姫』などの美術監督としてアニメーション作品の舞台となる背景画を数多く描き続け、また俳優・吉永小百合氏による原爆朗読会「第二楽章」シリーズの挿絵を手がけるなど、平和への願いを込めた幅広い活動も続けています。

本展では、これまで一般公開の機会の少なかった、ヒロシマ・ナガサキ・沖縄をテーマにした絵画を紹介します。男鹿和雄氏が描く、命の尊さと平和への祈りを、ぜひご覧ください。



- 日時** 2025年7月19日(土)～8月3日(日) 9時～17時
毎週月曜は休館日(祝日の場合はその翌日)
- 場所** 三重県総合博物館(MieMu) 2階 交流展示室
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 3060
- 観覧料** 無料 *期間中にMieMuで開催される企画展示・基本展示は別料金
- 主催** 三重県生活協同組合連合会
- 協力** 三重県総合博物館、公益財団法人第五福竜丸平和協会
- 後援** 三重県、三重県教育委員会、津市、津市教育委員会

※一部の絵画でピエゾグラフを使用。



山王神社の現在の様子

© Oga Kazuo

お知らせ

三重県生活協同組合連合会 創立50周年記念誌

2024年に創立50周年を迎えた三重県生協連の長年の活動と歩みを未来へ伝える『三重県生活協同組合連合会 創立50周年記念誌』を、ホームページからご覧いただけます。これまでの活動を受け継ぎ、次世代に伝え、未来にむけて新しい一歩を進めてまいります。



ホームページ

